

# とだ議会だより



3月定例会

No.182

2014年(平成26年)5月1日

平成26年度  
予算決まる! P2

常任委員会の年間活動成果 P20

入園式 (はごろも幼稚園)

主な議案・質疑	3
26年度の主な事業	4
討論、意見書	5
委員会審査から	6
総括質問	8
一般質問	11
視察レポート	19
役職一覧表	23
正副議長あいさつ	24

# 市民主体の「協働によるまちづくり」に向けて

# 平成26年度 予算 決まる!

平成26年  
3月  
定例会  
2月5日～  
3月12日



▲障がい者（児）施設「にじの杜」

3月定例会は、2月5日から3月12日までの36日間の会期で開かれました。本定例会には500億円を超える平成26年度一般会計予算など47件の市長提出議案等が提案され、いずれも可決・同意等いたしました。

市長施政方針に対する総括質問では、会派を代表して5人の議員が質問を行いました。また、3日間にわたる一般質問では、14人の議員が活

発な論戦を展開しました。最終日には、委員会提出議案として「戸田市歯科口腔保健の推進に関する条例」、議員提出議案として意見書2件が提案され、いずれも全会一致で可決しました。

なお、新たに提出された「小学校3年生で35人学級・中学校2年生で38人学級実現を求める請願」は、継続審査となりました。

### 平成26年度予算のあらまし(千円単位は切り捨て)

- 一般会計予算 500億円
- 特別会計予算 226億7,763万円(13特別会計の合計額)
- 水道・下水道事業の予算

項目		水道事業会計	下水道事業会計
収益的 収 支	収入	26億6,155万円	27億2,945万円
	支出	25億7,278万円	26億9,249万円
資本的 収 支	収入	1億6,039万円	10億 534万円
	支出	9億4,827万円	17億5,950万円

※一般会計予算の内訳は、3ページをごらんください。  
 ※下水道事業は、平成26年度から官庁会計方式から企業会計方式へ移行  
 ※収益的収支…水道水の供給や下水の処理にかかる収入と支出  
 ※資本的収支…配水管や浄水施設、下水道管やポンプ場の建設更新などにかかる収入と支出

### 主な議案の概要・質疑

◎26年度予算  
一般会計の歳入歳出を、それぞれ500億円とするものです。

### 質 疑

Q 障がい者（児）施設「にじの杜」の運営内容は、

A 生活介護と短期入所を実施し、身体・知的・精神障がい者を受け入れる。なお、生活介護における入浴事業と短期入所は、市内で初の事業となる。施設定員は生活介護45名、短期入所12名。運営法人は戸田市社会福祉事業団。

Q マンション内「家手力」保育所運営支援事業の内容は、

A 大型マンション建設による保育需要に対応するため、マンション事業者と連携してマンション内に認

可並みの認可外保育所を整備する。埼玉県子育て応援マンシヨンの認定を受けた新築マンション内に整備され、主に当該マンションの入居者を優先的に入所させる保育施設を対象とする。新曽南3丁目に建設の大型マンション内に本事業の補助対象となる施設が整備される予定で、0歳児から2歳児までを対象年齢とし、0歳児9名、1歳児9名、2歳児10名の計28名の定員を予定している。

Q 風疹ワクチンの予防接種助成は継続するのか。

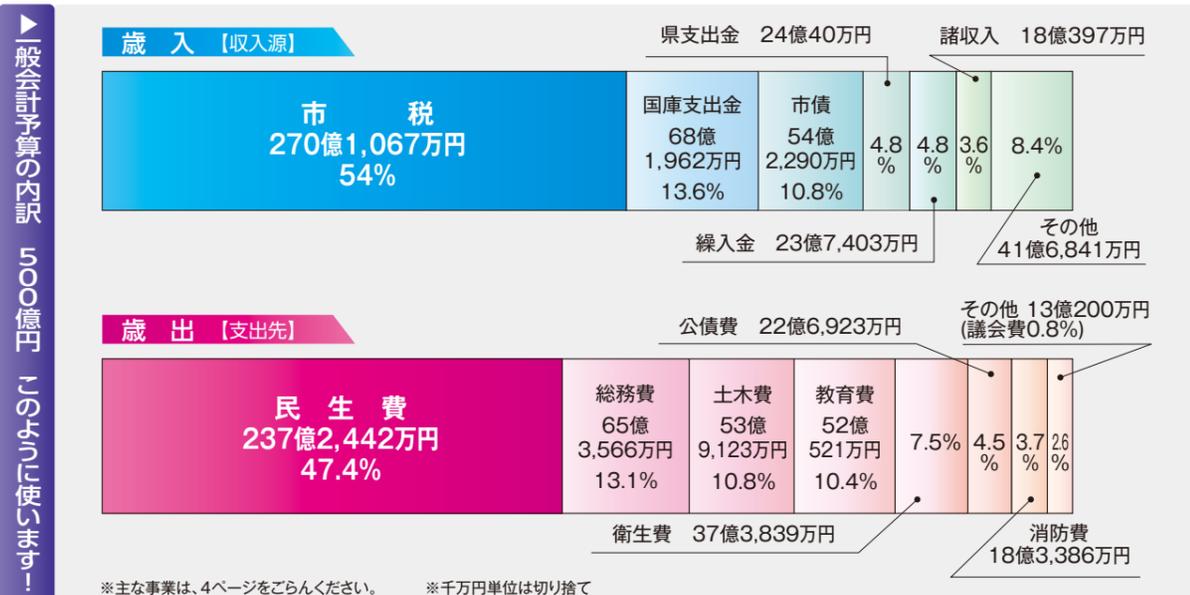
A 25年の夏以降に流行が沈静化し、26年の感染報告数についても流行前の状態に落ち着いてきたことから、予防接種への費用助成をさらに継続して実施する予定はない。

### 質 疑

Q 消費税法の特例により、消費税の納税額が発生しないにもかかわらず、使用料の改正を行う根拠は、

A 光熱水費や委託料などの各種支出に伴う市の負担が、消費税率の引き上げにより増加することから、税負担を適正に転嫁することが適当であると考え、使用料等の改正を行うものである。

その他、延べ21件の質疑がありました。



### 平成 26 年度の主な事業

(千円単位は切り捨て)

■ 認可外保育施設運営支援事業	1億 5,333 万円
認可保育園と家庭保育室の保育料の差額助成を拡充し、家庭保育室の利用者をふやし、待機児童の解消を図る。また、大型マンション内に整備される保育室に運営費補助等を行い、入居する子育て世代の保育需要に対応する(マンション内“家チカ”保育所運営支援事業)。	
■ 学童保育室事業	8億 5,437 万円
受け入れ学年を小学校3年生から、小学校4年生までに拡充。	
■ 学校教育指導事業	755 万円
放課後の学習環境の一層の充実を図るため、インターネットに接続したパソコン等を利用し、家庭でもドリル学習等を行うことができる環境を整備する。	
■ にじの杜運営費補助事業	7,462 万円
障害のある人や家族が安心して、通所施設や短期入所施設のサービスを利用できるよう、施設運営費の補助を行う。	
■ 予防接種システム構築事業	131 万円
自分に合った予防接種スケジュールを携帯電話やパソコンで管理できるよう、システムを導入する。	
■ 防災事業	1億 2,086 万円
災害時に受水槽から直接取水できるよう、小中学校4校(美谷本小、笹目小、笹目東小、戸田中)の受水槽に蛇口を取りつける。また、河川の水位等を監視するため、河川2カ所(緑川、菖蒲川)に監視カメラの設置などを行う。	
■ 小型家電リサイクル回収ボックス設置事業	149 万円
使用済みの小型電子機器を排出する際の利便性を高めるため、市役所や公共施設に回収ボックスを設置する。	
■ 太陽光発電設置事業	1,221 万円
再生可能エネルギーの普及促進や防災力強化のため、町会会館に太陽光発電システムを設置する。	
■ 浸水対策事業	8,509 万円
浸水被害の多かった市内東部の合流式下水道地区に、浸透雨水ますを増設する。また、雨水の影響を抑制し、下水道本管の負荷を減らすことで、効率的な雨水処理ができるよう、喜沢中学校に雨水浸透施設を設置する。	
■ スマートハウス設置融資保証料補助事業	60 万円
新エネルギーの普及と低炭素社会の実現を図るため、「勤労者住宅資金融資制度」に新たにスマートハウス設置のメニューを追加する。	
■ 商店新業態転換支援事業	380 万円
空き店舗等への対策を推進するため、既存店舗の刷新や閉店した店舗の再生等を促すとともに、新たな商店を商店会エリアに誘致する。	
■ スマートフォン用アプリケーション開発・運用事業	944 万円
スマートフォンの特長を生かしたアプリケーションを開発・運用することにより、市民から身近な課題の情報提供を受けるとともに、行政からは情報発信をすることで地域の課題解決につなげていく。	

※ スマートハウス…コンピューターやデータ通信技術を利用して家庭内のエネルギー消費を最適化する住宅。

## 討 論

今定例会では、議案2件に対して延べ5議員が討論を行い、いずれも賛成多数で可決しました。

**反対**  
26年度予算  
県下一の財政力を市民の暮らし向上に生かす  
本田 哲議員

①軽費老人ホーム白寿荘の跡地は、広大で貴重な市の土地であり、売却すべきではない②「戸田市公共施設再整備方針(案)」は、公共施設を民間委託し職員削減やコスト削減を進める計画となっている。このような方針等に基づいて行われるファシリティマネジメントに関する市民講演会は問題がある。安全性の確保等、公的責任をしっかりと果たす施設運営を継続すべきである。

**賛成**  
市民生活の向上と安定に向けた事業を評価  
榎本守明議員

③保育需要が高まる中で、保育士の確保は一層困難となること予想されるため、正規職員の増員と臨時職員の待遇改善を図るべきである。以上のことなどを踏まえ、反対する。また、複数の公共施設の再整備を集中させたことで、市政運営上の予算執行のバランスを欠く結果となっている。今後、予算編成のバランスを欠くことがないようにするとともに、県下一の財政力を、市民の暮らしの向上に生かしてもらいたい。

本予算は、市民生活の向上と安定を図るため、さまざまな分野においてなし得る事業を積極的に取り組むことを意図しており、高く評価し、賛成する。①軽費老人ホーム白寿荘の跡地の売却について、工業系の企業のみに限定するのはなく、子育て支援や健康とできるような企業を含めて、多方面に門戸を広げて最適な企業を誘致しようとする姿勢は評価できる②ファシリティマネジメントに関する市民講演会は、財政状況やファシリティマネジメントの取り組みを市民に知ってもらう、将来的な公共施設のあり方を一緒に考えていく第一歩となることから妥当である③公立保育園の臨時保育士の賃金水準は、近隣市や民間と比較して高い水準にある。

**賛成**  
若い世代や子育て世代を支援する姿勢に賛同  
中山祐介議員

市民の健康への関心を高めるための健康ポイント制の導入、健診受診率を高めるための未受診者へのコール・リコール対策のスタート、障がい者の就労支援やひとり親への寡婦控除のみなし適用などの事業を評価し、賛成する。また、スマートフォン用アプリケーションの開発や児童生徒の放課後学習システムの導入などは、情報社会に柔軟に対応し、若い世代や子育て世代を支援するものであり賛同する。

**反対**  
市民の負担をふやす改正には反対  
本田 哲議員

行政財産の使用料に関する条例等の一部改正  
消費税率の引き上げに伴う負担増加分を使用料等に転嫁せず、市が負担することは、本来、利用者等に転嫁すべき消費税を市民全体で負担することになり、市民間に不公平が生じる。税負担を適正に転嫁するため、使用料等の改定を行うことは妥当であり、賛成する。

**賛成**  
市民間に不公平が生じることは好ましくない  
伊東秀浩議員

4月以降、消費税が増税された上に、年金の支給額削減、70歳から74歳の医療費の2割引き上げ、生活扶助費の引き下げなど、社会保障の給付削減や制度改悪が次々に実施される。そのような中、各種公共施設の使用料等を値上げすることは、さらに市民の負担をふやすことになることから反対する。

**歯科口腔保健の推進に関する条例を可決!**  
(健康福祉委員会提出)

市民に歯科健診の機会を保障し、口腔内の健康増進を図ることで、よくかんで食べることで、よからだ全体の健康が図られ、結果として、医療費の抑制をすることを目指します。詳しくは、21ページをごらんください。

**意見書(議員提出議案)を国・政府に提出**

◆微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書

PM2.5の発生源の実態等を解明し、国民にわかりやすい注意発令の仕組みを整備することなどを要望するものです。

◆食の安全・安心の確立を求める意見書

食品表示等の適正化を図る景品表示法等改正案の早期成立・施行を期すなど、適切な措置を講じ、食品に係る安全性の一層の確保に努めるよう要望するものです。

※ ファシリティマネジメント…経営の視点から施設を戦略的に活用し、最少のコストで最大の効果を得るための手法。

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

# 委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、3月12日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

## 総務

### 市内業者育成の観点から、社会的貢献度に関する評価を



▲上戸田福祉センター完成イメージ

※各常任委員会の所管部署  
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

#### 「上戸田福祉センター」再整備工事請負契約

総合評価方式の項目では、市内業者育成の観点から、対象となる市内業者が少ない場合も、地域貢献などを評価すべきとの意見が出され、執行部から、特定業者が有利となる項目は、県総合評価審査小委員会から難色を示

されるが、今後は提案していききたいとの答弁がありました。

#### 「26年度予算」

総務費の一般管理費では、スマートフォン用アプリケーションの内容と利用開始時期について質疑があり、広聴機能や防犯・子育て情報などを市民との意

## 健康福祉

### 学童保育4年生まで対象拡大を評価

福祉部・子ども青少年部  
福祉事務所  
市民医療センター

#### 「25年度補正予算」

高齢者緊急時連絡システム事業に係る減額理由について質疑があり、執行部から、高齢者サービス全体の利用促進について当委員会の提言を踏まえ、研究していききたいとの答弁がありました。

#### 「26年度予算」

学童保育室事業について、小学校4年生まで対象を拡大することと、民間による学童保育室の開設を見込むとの説明があり、拡大を評価する意見がありました。

児童福祉運営費について、民間保育園の新設に対し補助するとの説明がありました。

衛生費・予防費では、予防接種システム構築業務等について質疑があり、登録するとお知らせメールなどにより接種のし忘れ防止を図る、県内で初のシステムであるとの答弁がありました。

成人保健事業費の健康ポイント制度について質疑があり、一日の歩数や、飲酒、喫煙の節制などについて、市で設定した目標と、参



▶新設された「太陽の子保育園学童保育室」

## 文教・建設

### 新曽第一土地区画整理事業の早期完了に向けて予算獲得を

都市整備部  
教育委員会

#### 「26年度予算」

教育指導費では、ICTを活用した学習について、苦手な人や追いつけない人など、児童生徒一人ひとりをしつかりと見て、学力向上に努めてもらいたいとの意見がありました。

公民館費では、プロジェクターについて、市民が開催する講演会等には貸し出しを行っていない。貸し出して

見交換を実施した上で導入し、平成26年10月の運用開始を目的に進めるとの答弁がありました。

防災費では、河川監視システム構築と保守業務の内容や、カメラ設置箇所について質疑があり、河川水位などを監視し、ホームページ

ジからも閲覧できるシステムであり、市内5つの河川の水位標がある付近に順次設置し、26年度は、緑川の喜沢橋、上戸田川と菖蒲川合流地点の2カ所を予定しているとの答弁がありました。

あり、執行部から、今後、十分検討していききたいとの答弁がありました。



▶新曽第一土地区画整理事業地区  
戸田駅西口

※ICT…情報通信技術。

## 市民生活

### 中小企業のニーズを把握し、利用しやすい制度融資を

市民生活部・環境経済部  
消防本部  
上下水道部

#### 「市民医療センター」特別会計予算

加者自身が設定した目標を達成することで、ポイントを付与するとの説明がありました。

医師の確保について質疑があり、新規採用は大変厳しい状況であるが、新たな人材の獲得方法を検討しているとの答弁がありました。

#### 「25年度補正予算」

商工業振興費では、依然、利用が少ない制度融資について、中小企業のニーズの把握に努め、利用しやすいものにしてもらいたいとの意見がありました。

#### 「26年度予算」

行政振興費では、開封市との友好都市締結30周年記念事業の内容に関する質疑に対し、執行部から、26年度に友好都市締結に関する協議書の期限が切れることから、5年間の延長を行うための調印式

を本市で行うほか、講演会等のイベントも予定しているとの答弁がありました。

環境保全費では、26年度の環境配慮型システム等設置費の補助対象に、標準になりつつある高効率給湯器エコジョーズを対象外とし、新たにHEMS（ヘムス）を加えるとの説明がありました。

商工業振興費では、商店街街路灯の電気料金等に対する補助金に、26年度より、補助率を50%から75%へ引き上げるとの説明が



▶潜水訓練の様子

ありました。

常備消防費では、潜水士の有資格者数に関する質疑に対し、有資格者は現在43名で、26年度より正式に運用を開始し、災害時の潜水活動に当たるとの答弁がありました。

※HEMS（ヘムス）……ホームエネルギーマネジメントシステムの略で、エアコンや照明等をネットワーク化し、家庭内の電気使用量を「見える化」する機器。電気使用の無駄がチェックでき、省エネに役立てることができる。

主な議案  
委員会審査

主な議案  
委員会審査



### 大災害に備えて、共助の仕組みづくり強化を

「災害時要援護者支援制度の確立で」

公明党 三浦 芳一 議員



### 今後の高齢者福祉施設の整備方針は

「実情に応じた整備計画を策定する」

志政クラブ 石井 民雄 議員



### 健康寿命を延伸させるための施策は

「新たに「健康ポイント制度」を導入する」

平成会 秋元 良夫 議員



# 総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表質問のことです。

今定例会では、2月20日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをたしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。総括質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。総括質問の様子は、議会ホームページからご覧いただけます。

なお、施政方針の内容は、市ホームページでご覧いただけます。



▲満開に咲く喜沢の桜

委員会審査

総括質問・一般質問

委員会視察レポート

年間活動成果

役職一覧・活動テーマ

**議員** 県が発した市町村別健康寿命で、本市は下位に位置している。健康寿命の延伸策として、どのような事業を考えているか。

**市長** 早急に取り組むべき重点課題として認識している。新たに「健康ポイント制度」を導入するなど、若い世代からの健康増進と、高齢者の健康維持をさらに強化していく。



▶健康寿命を延ばすためには適度な運動も必要です  
（リズム体操発表会  
提供・戸田市社会福祉協議会）

#### 今後の財政運営

**議員** 今後、財源の確保が一層困難になると考えるが、財政運営上の課題認識と進め方は。

**市長** 公共施設の改修に多額の費用が必要となるなど、本市の財政状況は、一層厳しくなると

#### 男女共同参画社会の実現に向けて

**議員** 男女共同参画センタービリーの閉館後、男女共同参画社会の実現に向け、どのように取り組んでいくか。

**市長** 講座等の啓発や情報発信は、再整備さ

れる上戸田福祉センターで引き続き実施していく。これまでの施策を後退させることなく、市政に女性の視点をより多く取り入れていく。

**議員** 女性の起業支援を積極的に進めていく考えは。

**市長** 女性起業家が活躍できるようにビジネス環境を整備する。

**議員** 今後、超高齢社会を迎えるが、特別養護老人ホームを初めとする高齢者福祉施設の整備計画は。

**市長** 本年3月に「とだ優和の杜」が開設され、特別養護老人ホームの待機者数が緩和されることから、推移を見守りたい。その他の施設は、本市の実情に応じ施設・在宅・地域密着型の各サービスのバランスをとった整備



▲ICT学習教材を活用した家庭教育の様子（イメージ）

#### 家庭教育の支援

**議員** 新たに家庭でも活用できるICT学習教材を整備し、家庭教育の支援を行うが、その具体的な活用方法は。

**市長** 26年度から、児童

生徒の学力向上につなげるため、ICTによる学習環境整備をさらに進め、インターネットに接続したパソコンやタブレット端末を使用すれば、家庭でも学校と同じように、ドリル学習を行うことができるようになる。

#### 微小粒子状物質PM2.5への対応は

**議員** PM2.5は、小さい微小粒子のため肺

の奥深くまで入りやすく呼吸器系や循環器系への影響が懸念される。市民を健康被害から守るための注意喚起はどのように行うのか。

**市長** PM2.5の濃度が日平均70マイクログラムを超える恐れがある場合は、県の注意喚起情報をもとに防災行政無線で市民に周知する体制を整えている。

**議員** 防災対策の基本は「自分の命は自分で守る」という「自助」その上で「共助」の仕組みづくり強化にさらなる支援策の推進を。



▶水害ワークショップ（喜沢1丁目）

**市長** 災害時要援護者支援対策として「おねがい会員」「まかせて会員」の登録呼びかけなど、「共助」の仕組みが機能するよう取り組む。

**議員** ①川岸地区の改

善・整備目標は②公園に防災機能を完備せよ。

**市長** ①平成30年度までに災害時に有効なオープンスペースとなる広場や避難路となる通り抜け道路の整備を計画②防災力向上に配慮した公園づくりに努める。

#### 健康寿命の延伸を

**議員** 仲間外れ・無視・陰口など暴力を伴わないいじめもある。児童生徒すべてを対象に、

#### いじめ未然防止対策を

**議員** 「データヘルス計画」に基づいた分析で、健全な保険財政と健康寿命の延伸を。

**市長** 「戸田市ではいじめを絶対に許さない」との決意で、基本方針を策定し対処する。

#### 防犯カメラの設置を

**議員** 犯罪抑止、犯人確保に街頭防犯カメラの設置を望む。

**市長** 検討していく。

※ レセプト…診療報酬明細。

# 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定期市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、2月24日から3日間かけて、14人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。一般質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



## そこが ききたい



▲1964年東京オリンピック（戸田ポートコースと聖火台）

**市民生活部長** 戸田 漕艇場は、コース幅、水深といった点で国際規

格を満たさず、オリンピックの開催は難しい。また、彩湖での開催も現時点では広さが足りない。しかし、拡幅工事を行えば可能と考えるので、本市での開催の可能性が残されている限り、埼玉県ボート協会等と協力して積極的な誘致を行いたい。

**議員** 五輪会場にないとしても、キャンプ地や練習会場としての可能性もあるが、どうか。

**議員** 2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが行われる



日本のボート競技の中心地は戸田だ！

### 東京五輪

## ボート競技を誘致せよ

「可能性のある限り努力する」

遠藤英樹 議員

**議員** かわりを持ってなければボートの中心地としての地位は新しい漕艇場に取ってかわられる。「ボートのまち戸田」の看板をかける挑戦してもらいたい。

**市民生活部長** かわりにはさまざまに考えられるので、市制施行50周年に合わせた周辺の環境整備や聖火台の活用も含め、積極的な対応をしていく。

**議員** 五輪会場にないとしても、キャンプ地や練習会場としての可能性もあるが、どうか。

**議員** 五輪会場にないとしても、キャンプ地や練習会場としての可能性もあるが、どうか。

### 東京五輪

## ボート競技を誘致せよ

「可能性のある限り努力する」

遠藤英樹 議員

**議員** かわりを持ってなければボートの中心地としての地位は新しい漕艇場に取ってかわられる。「ボートのまち戸田」の看板をかける挑戦してもらいたい。

**市民生活部長** かわりにはさまざまに考えられるので、市制施行50周年に合わせた周辺の環境整備や聖火台の活用も含め、積極的な対応をしていく。

**議員** 五輪会場にないとしても、キャンプ地や練習会場としての可能性もあるが、どうか。

**議員** 五輪会場にないとしても、キャンプ地や練習会場としての可能性もあるが、どうか。

### 総括質問

## 建設事業の集中見直し 暮らし優先の市政へ

「基金・市債の活用で両立図る」



日本共産党 花井 伸子 議員

**議員** 公共施設の再整備が単年度に集中し過ぎ、前年度比64・3%、32億円増、これらに伴い建設事業の借金が総額52億2千万円と、財政運営のバランスを欠いているのでは。



▲スポーツセンターの使用料も値上げされました

**議員** 紙おむつ助成を入院患者へも拡充しては。

**市長** 入院などにも対応できる支給方法などを検討する。

**消費税の公共施設使用料等への転嫁やめよ**

**議員** 消費税法第60条第6項には、公共施設の使用料等の消費税が免除されている。値上げすべきではない。

**市長** 国からの消費税負担の円滑かつ適正な転嫁の方針、光熱水費や委託料などの消費税引き上げ分の負担が増加することから使用料

等の改定を行う。

**子育て支援・高齢者福祉の充実を**

**議員** 民間保育園が、26年度に3園、27年度に1園、新設され、あわせて民間家庭保育室の保育料助成が拡充される。保育園待機児童は解消されるか。

**市長** 今後も待機児童解消に向けた保育園整備を推進。家庭保育室への助成は認可保育園と同負担となり待機児童解消の一助となる。

## 出生率アップと健康寿命の延伸を

「計画に沿って進めていく」



戸田の会 酒井 郁郎 議員

**議員** 国は積極的な経済政策を掲げているが、その成否に関係なく「戸田市のことは我らがやる」という強い意思で当たってほしい。教育・子育て支援や町並み整備など働く世代の環境整備、重点産業分野を呼び込む産業振興策に加え、出生率アップと健康寿命の延伸を強く打ち出してほしい。

**議員** 放課後学習の充実、学童保育と連携を。また、授業についていけない児童への支援を。

**市長** 「とだっ子学習クラブ」の充実により学習支援を行っていく。

**市長** 市民ニーズに耳を傾け支援していく。



▲出生率アップに向けた取り組み

**議員** 小中一貫教育の本市のビジョンは。小中一貫校設立につなげてもらいたい。どうか。

**議員** 市長の目指す市民との協働はどの程度なのか。「必ず参加機会をつくる」「すべての立場の人の参加を目指す」ために何をを行うか。

**市長** 検討委員会を設け研究を進める。

**市長** 施策の計画策定段階から、行政は、市民が参加する権利を保障する。市民が市政に参画する場や市民同士がつながる場をつくる。

\* 協働…同じ目的のために、対等の立場で協力して、ともに働くこと。

# 加入率向上のため 推進計画の策定を

## 「町会の意見を聞き、検討する」

栗原 隆司 議員

### 町会

市民生活部長 各町会



議員 町会も密接な関係にある子ども会の加入率が激減している現状をどう考えるか。また、今後、行政がどのような方法でバックアップしていくのか。



▶スポーツ大会  
(戸田市子ども会育成連合会)

議員 町会と密接な関係にある子ども会の加入率が激減している現状をどう考えるか。また、今後、行政がどのような方法でバックアップしていくのか。

議員 自治基本条例制定における町会、子ども会との関連をどう考えるか。

# グローバル化に対応した 英語教育を

## 教育改革

### 「国際社会で活躍する子どもを育成」

細田 昌孝 議員



議員 文部科学省の教育再生実行会議にて、グローバル化に対応した英語教育改革実施計

画が発表された。それに伴う本市の対応は。教育部長 国際社会で活躍できる児童生徒を育むため、国の動向を注視しながら、本市の

特色である英語教育を一層推進する。議員 2020年の東京五輪に向けた本市の英語教育のかかわりは。

議員 国の研究委嘱を受け続けていることから、英語教育の先進市として、国へもつとアピールしては。

市長 今後も全国の先進市として、一層研究を進め、国際社会で活躍する「とだっ子」を育てていく。議員 国際社会で活躍できる人材育成に努めるよう要望する。



▶ALT(英語教育指導助手)による授業の様子(美世中学校)

# 新たな電子行政 サービスを

議員 国の電子行政オープンデータ戦略において、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部が設置された。これに伴い本市も積極的に取り組むべきでは。

議員 国の電子行政オープンデータ戦略において、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部が設置された。これに伴い本市も積極的に取り組むべきでは。

# 無料クーポン券を制度 として定着できないか

## 「平成30年度まで続ける」

三輪 なお子 議員

### がん検診対策



議員 厚生労働省が掲げる、平成28年度子宮頸がん検診、乳がん検診受診率50%の見込みについて、未受診者に対する取り組みは。また新たに20歳、40歳になる人に無料クーポン券は配布されるのか。

次年度対象年齢となる人へのお知らせなどのがん検診対策を推進していく。市民アンケート調査の結果、28年度には、受診率50%の目標が達成できる見込みである。



▶がん検診受診率50%達成に向けたイメージキャラクター  
ロゴマーク (提供:厚生労働省)

防策に市民の関心が寄せられている。ピロリ菌抗体検査の有用性に対する考えは。福祉部長 新しい情報がある人が積極的に検査が受けられるよう推奨していく。

議員 ピロリ菌抗体検査を、特定健診中の血液検査の項目に入れたり、大腸がん無料クーポン券を活用し、検査を同時に行うのは。福祉部長 現時点では、がん検診での実施は考えていない。今後の研究成果を参考にしていく。

### その他の質問

Q 既存住宅の耐震化に補助金の拡大を。A 検討する。

## 官製ワーキングプア

# 市で働く非正規職員の 待遇改善を

## 「近隣とのバランスを見て対応する」

岡寄 郁子 議員



議員 働くく貧困層「ワーキングプア」は全国で1千万人を超え、その要因である非正規雇用

は2千万人を突破した。公務の場でも非正規化が進み「官製ワーキングプア」は全国60万人と言われる。戸田市の非正規職員の人数と多い部署は。

総務部長 社会保険適用の臨時・非常勤職員は180人、社会保険適用外の臨時・パートは441人である。多いのは保育園、医療センター、学校である。議員 正規職員との賃金の比較は。

議員 非正規は経験による加算や手当がなく何年勤めても収入はふえない。国家資格があっても身分は不安定だ。市民サービス向上の点からも経験ある人材の確保は重要であり、待遇の改善を図れないか。

議員 防災機能を備えた新設障がい者福祉施設2カ所(わかかさ・にじの杜)を市の福祉避難所に指定しては。

議員 要援護者の受け入れ施設として協定締結を進める。備蓄品も相談する。



▶福祉避難所に指定を(障がい者福祉施設「わかかさ」)





議員 市税の延滞金の減免制度創設を求めて

きた。本年4月から制度の運用を始めるに当たり、次の点について伺う。①制度を設けた目的は②市民に制度の周知をしっかりと行うべきではないか。

財務部長 ①納期限までに納税しなかったこ

とについてやむを得ない理由があると認められた場合に延滞金を減免できる旨の規定を定めた②相談業務の中で、該当する人に、適切に情報提供をしていきたい。

議員 市民との情報格差を生まないよう、減免等を定めた要綱の内容を市民に知らせることは必要である。相談窓口は、張り紙等を張ることはできないか。

議員 大前緑地「どんぐりの森」に、トイレ設置の要望が寄せられている。トイレの設置はできないか。

環境経済部長 土地使用貸借期間があり、トイレなどの建築物を設置することは難しい。

### 市税の延滞金減免の制度周知を

「該当する人に適切に情報提供する」  
本田 哲 議員

#### 収税行政

ポートコースのキョウチクトウの移植を

議員 戸田ポートコース内北側に植えられているキョウチクトウを移植し、眺めのよいポートコースになるよう景観整備を進めるべき。

都市整備部長 景観の観点から、調査研究を進めていきたい。



戸田ポートコース北側のキョウチクトウ

### 本税優先で行え

#### 滞納整理

「納期ごとの徴収が原則」  
望月久晴 議員



議員 戸田市は、滞納整理する場合、納期ごと

に、本税、延滞金、本税、延滞金と充当していくため、本税がなかなか減らず、滞納地獄になっている。地方税法では、滞納した税金を払う場合、延滞金の発生する本税がなくなるまで、本税に充当し、本税の滞納がなくなつてから延滞金に充当することになっている。

議員 さいたま市、川口市、蕨市、新座市など電話調査した県内21市すべてで、本税優先で滞納整理を行っていた。また、税務署や県税事務所にも聞いたが、すべての本税がなくなるまで本税に充当している。



収納推進窓口

議員 税務署や県税事務所、ほとんどの市で、本税がなくなるまで本税優先で充当していることから、その方向で検討してもらいたい。

にもよくなる、労働効率も悪いので、実態を調査して改善できないか。

議員 戸田市も本税優先で行うべきではないか。

議員 納期ごとに滞納金を徴収することが原則だと考えている。

財務部長 耐震工事等で空調設備の更新を行っており、これまでの課題である北側・南側の温度格差を和らげる装置を導入することも、各所で温度調整ができるようになる。

#### FM放送

### 臨時災害放送局の検討を始めよ

「有効と考え、研究を進める」  
馬場 栄一郎 議員



議員 コミュニティFMは、地元の情報を市民

に提供する地域情報の発信としての役割と、災害時には地域にとつ

て有効な情報収集・伝達の手段としての役割が認められ、コミュニティFMの開局がふえられている。開局に向けての取り組みは。

#### 危機管理監

東京都周辺地域では周波数が逼迫しており、周波数の割り当てが確保できない点や、財政負担の問題で開局は困難である。

議員 大災害発生時、即座に免許付与と周波数の割り当てが行われる「臨時災害放送局」があるが、本市でも検討してはどうか。

危機管理監 災害



避難所訓練

#### 「サポート手帳」に統一しては

発生時の情報発信の手法として有効と考える。必要な資機材や費用、周波数利用に関する事務手続の研究を進める。

議員 本市では、発達障がい児の支援状況を記録して、関係機関が支援経過や内容を引き継ぎながら、成長過程に応じた一貫した支援

を行えるよう相談支援ファイルを配布している。しかし、相談支援ファイルには、県が作成した「サポート手帳」と市が作成した「サポート手帳」がある。どちらかに統一すべきではないか。

議員 大災害発生時、即座に免許付与と周波数の割り当てが行われる「臨時災害放送局」があるが、本市でも検討してはどうか。



議員 役所の職員は、さまざまな地域住民の要望に真摯に

応じている。しかし一方で、窓口での対応に不満を感じているとの声を聞くことがある。「窓口サービス」に対する市民からの要望や意見、苦情などは、どのように生かされているか。

政策秘書室長 市民からの意見等をデータベース化し、共有化する体制を整えている。担当課で、窓口サービスの質の向上や職員の接遇に反映させている。



笑顔で対応中

本であり、力が湧いてくる。来庁者が気持ちよく帰ることができるように、先頭に立って励行していきたい。

#### 公共施設の電力供給

議員 市内公共施設の電力供給を、経費節減のため、特定規模電気事業者（PPS）に移行してはどうか。

財務部長 導入のタイミングなど、さらに検討する。

### ISO9001の取得に取り組んではどうか

「市民満足度を高めるよう努力する」  
竹内 正明 議員

#### 窓口サービス

議員 全庁的に「あいさつ運動」などに取り組んでどうか。副市長のような元気なあいさつは、来庁した人を元気にすると考える。

副市長 あいさつはコミュニケーションの基

※ISO9001…製品やサービスの品質保証を通じて、顧客満足向上と品質マネジメントシステムの継続的な改善を実現する国際規格。

### 家庭保育室保育料軽減 助成金のさらなる拡充を 「助成額の大幅な改善を図る」

石川 清明 議員

#### 子育て支援

議員 保護者から、認可保育園と家庭保育室の不公平感を訴える声や、よいところを考慮して選べるようにしてもらいたいと訴える声を耳にする。しかし、保育料の差額が課題となっている。戸田市における家庭保育室保育料軽減助成金のさらなる拡充の取り組みは、

こども青少年部長 待機児童対策として有効な家庭保育室保育料軽減助成制度の大幅な見直しを図り、25年度予算と比べ約5800万円増となる約8806万円を26年度予算に計上した。従来は、3歳未満児を持つ保護者の所得状況に応じて3階層に分け助成額を決定していたが、より細分化し、8階層に分け決定するとともに、助成額の上限を2万円から

5万8千円に変更して認可保育園の保育料並みの負担額となるよう改善を図る。  
議員 経験者であり、資格を持ちながら就労していない潜在保育士は、全国で57万人いるとされている。即戦力ともなる潜在保育士の再就職支援の現状と取り組みは。  
こども青少年部長 保育資格を持ち保育現場



保護者による一日保育士体験の様子  
(世目川保育園)

を離れていた人が現場復帰しやすいように、隔日勤務や午前・午後勤務など、各自の希望も考慮した働きやすい勤務体制での雇用形態を考えていきたい。さらに現場復帰に当たっての不安解消のため、担当課の保育士等による個別相談の実施も考えている。

### 雇用の安定に必要では

「国の制度へ加入促進を図る」

高橋 秀樹 議員

#### 中小企業退職金



議員 中小企業従業員退職金等福祉共済制度(中退共)は、従業員

の安定、従業員の福利厚生、企業の発展に大きく貢献してきた。また、企業は法人市民税や雇用の提供で、戸田市の発展に大きく貢献してきた。中小企業は、



雇用の安定、福利厚生の充実、企業の発展につながる支援は必要です！

個別で退職金制度の制定は難しい。本市の中退共は507社、8300人が加入していた。①中退共を廃止した理由②国の中退共は1口の掛金が高く、企業の負担が大きい③公益財団法人や他市と共同運営はできないか。  
環境経済部長 ①掛金積み立てと市の補助で運用していたが、運用利回りが悪化し、23年度時点で約3億円不足

となり、廃止することとした②国の制度に移行した中小企業に対し、最初の2年間1人当たり月額1000円の補助金を支給③他市等との共同運営は難しい。  
公共工事と地元企業の育成は  
議員 ①総合評価方式では、地元企業が落札することは難しい。災害時の対応や除雪等で

は、地元の建設業者や土木業者が頼りになる。地元業者への配慮も考えては②騒音や悪臭、水質汚濁等の公害を出した企業は減点を。財務部長 ①市内企業の受注拡大が図れるよう、地域要件を設け一般競争入札を実施。ガイドラインに従い、市内の下請けを選定した場合は、評価している②法令違反とならない公害への減点は困難。

### 情報提供・窓口の一元化と 対応の見える化を 「よりよい方法を研究・検討する」

金野 桃子 議員

#### 街灯



議員 市内の街灯が暗いという声が多いが、設置状況と対応状況は。

都市整備部長 道路照明灯は都市整備部が担当。基準等に基づき、市道に5750基設置。国道、県道は別にある。市民生活部長 防犯灯は市民生活部が担当。要綱等に基づき、市道、私道に1820基設置。



市道には「道路照明灯」と「防犯灯」が混在し、それぞれの部署が管理していますが、わかりづらいです。

国道、県道はない。議員 同じ道を照らす

のに部署がまたがり、わかりづらい。全体像を説明し、意見を受け付け、対応を見える化しては。  
都市整備部長 議員提案を参考に研究・検討する。

#### 「子ども・子育て会議」の充実を

議員 「児童福

祉審議会(戸田市版)子ども・子育て会議)は子育て政策を考える大事な会議。①ニーズ調査、インタビュー結果は。土日や託児つきでインタビューの追加開催を②保護者の声を政策に反映を③児童福祉審議会の充実を。

#### オープンデータの活用に向けて

議員 データは公開だけでなく、活用されることが大事。利活用に向けた取り組みを。

総務部長 今後はオープンデータとして提供を拡大し、利用しやすい環境整備を進める。

#### 振り込め詐欺

### 高齢者を狙う「母さん 助けて詐欺」への対策を 「喫緊の課題であり犯罪抑止に努める」

手塚 静枝 議員



議員 年々、巧妙化した手口で高齢者を狙う「振り込め詐欺(母さん助けて詐欺)」がふ

え続けている。本市も、詐欺被害防止・啓発等に取り組んでいるが、被害に遭う高齢者が後を絶たない。被害の発生を未然に防ぐための、今一重の対

策が必要である。市内の全高齢者世帯を訪ねて、振り込め詐欺への注意喚起を促すキャンペーンを実施してはどうか。  
市民生活部長 振り込め詐欺対策は喫緊の課題であり、警察と協力し犯罪抑止に努めていく。また、全高齢者世帯を訪ねし注意喚起を促すことは、すぐには難しいが、現在実施している民生委員による



振り込め詐欺被害防止キャンペーン(群馬銀行戸田支店前)

#### 産後ケア事業の 実施を

訪問活動の中で、関係部署と調整し、効果的な被害防止対策を実施していく。

議員 出産直後の母親が育児疲れや精神的不安定から、「産後うつ」や児童虐待につながるケースが発生している。国も「産後ケア」の必要性を挙げ、出産後、ショートステイやデイ

サービス等の、産後に焦点を当てた「産後ケア事業」を進めている。本市の現状と、今後の取り組みを伺う。  
福祉部長 産後うつが起こりやすい2カ月までに、こんにちは赤ちゃん事業を実施。また、家事・育児支援ヘルプサービス事業で、母親の心身の負担軽減を図っている。宿泊・日帰り等の支援は今後、国の動向を見守る。





**議員** 子供の話  
を頼める  
ご近所さ  
んや親戚  
がない専門主婦は、  
自分の自由な時間が持  
てずに育児ストレスを  
抱えがちである。公的  
な子供預かりサービス  
の充実に向け、「一時  
保育」の土曜日実施、  
「二時預かり」の午前  
実施と土曜日実施をし  
てはどうか。



▶たまにはお子さんを預けてリフレッシュを(笹目川保育園)

## 土曜日実施と 電話・FAX受け付けを

「検討し対応を考える」

真木 大輔 議員

### 一時保育

**議員** 一時保育について①電話やFAXによる受け付けを②受け付け状況のホームページ公開を③新設園での実施は④利用回数枠の拡大や柔軟な運用を。

**子ども青少年部長** ①今後検討していきたい②民間保育園の分も公

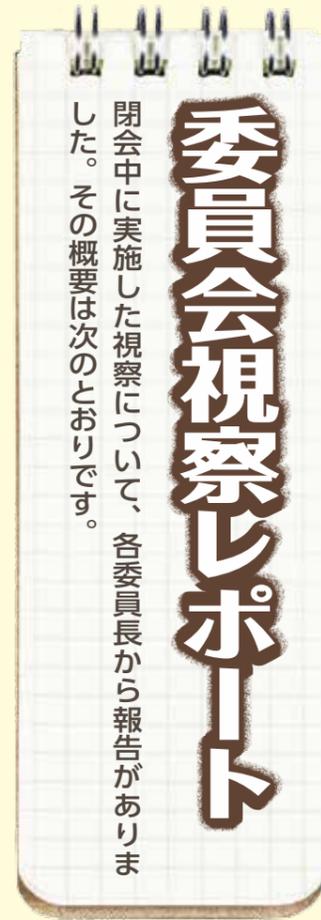
開を考えた。また、  
当月分に加え翌月分の  
公開も検討する③こと  
も国の併設する保育  
園で実施予定④現状で  
は難しいが、柔軟な対  
応を考えていく。

### 英語教育とALT

**議員** 本市の英語教育は、国の方針を先取りしてコミュニケーション力の育成を推進しており評価するが、幾つか課題がある。①市英語教育ハンドブックの内容改訂を②ハンドブックへの全授業の指導案掲載を③中学校における一層のALT活用を④論理的なコミュニケーション力の育成を⑤コミュニケーションの効果測定の導入を。

**教育部長** ①既に改訂を進めている②適切に実施しているため、すべては掲載しない③研究を進めている④今後進めていく⑤現在研究している。

一般質問



閉会中に実施した視察について、各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

## 文教・建設委員会

福岡県小郡市／佐賀県伊万里市

### 図書館ネットワークの構築で 学校図書館と連携

小郡市立図書館は、指定管理者による運営を開始した後、スピード感のある行政運営ができないという理由で、市直営による運営に戻しました。主な事業として、ネットワークシステムを構築し、図書館と学校図書館の本をサーバーで一括管理するなど、学校図書館と連携を図っています。

るまで、市民と一緒に図書館づくりを進めました。主な事業として、移動図書館を巡回させ、ボランティアとともに、保育園などでおはなし会を行っています。

**【意見・感想】**  
小郡市が取り組んでいる学校図書館との連携は、指定管理者による運営では難しいのではないかと感じま



◀1月28日 伊万里市民図書館にて

した。  
伊万里市は、市民やボランティアの支援もあり、いろいろな情報や図書館が集まってくる印象がありました。



Keyword  
「健康寿命」とは?

総括質問において、「健康寿命」が話題になっています。ここでは、健康寿命について解説します。なお、総括質問の大意は、8～10ページに掲載しております。

健康寿命とは、単なる生存ではなく、生活の質を考慮し、「あと何年、自立して健康に生きられるか」を示した期間のことです。

健康寿命には、健康をどう捉えるかによって、いろいろな考え方がありますが、埼玉県では、65歳に達した人が、介護保険制度の要介護度2以上に認定された時点を障害発生時点と考えると、それまでの期間を健康寿命としています。

戸田市は、県内の市町村の中で、健康寿命の順位が男女ともに下位に低迷しており(平成24年男性=15.71、女性=18.96)、健康寿命の延伸が喫緊の課題となっています。健康寿命を延ばすためには、バランスのよい食生活や適度な運動、十分に休息をとり、たばこやお酒を控えるなど、生活習慣を整えることが大切です。



### 「地方議会をめぐるいくつかの課題 — 事例を通して見えてくるもの」 議員研修会を開催

川口、草加、蕨、戸田の4市で構成する「埼玉県市議会第一区議長会」では、毎年、全議員を対象にして、政治、経済など各界から講師を招き、研修会を開催しています。

本年は、1月16日に、戸田市文化会館で、慶應義塾大学教授の片山善博先生をお招きし、「地方議会をめぐるいくつかの課題」をテーマに開催しました。

片山先生は、総務大臣や鳥取県知事など、多くの公職を務められ、行政側として議会で答弁をする立場にあった経験を踏まえ、「いかに議会を意義あるものにするか」「市民に開かれた議会とは」など、事例を通して話されました。

ユーモアを交えた中に、耳の痛い話もありましたが、今後の議会運営に役立つ大変有意義な研修会となりました。

## 健康福祉委員会

新潟県見附市

### 情報通信技術を活用した 健康運動教室

見附市では、空き店舗を活用し、健康運動教室を実施しています。専用の歩数計(5千円)を購入してもらい、教室に備えつけられたパソコンと連動させることで、運動メニューの

作成や運動の成果を記録しています。将来的には、医療費の適正化も期待できます。

**【意見・感想】**  
本市でも、空き店舗や公共施設の一部を活用して、実施できる取



◀1月17日 見附市役所にて

り組みだと感じました。

## 市民生活委員会

東京都世田谷区

### 大量発注を前提に、太陽光 発電システムを低価格化

世田谷区では、世田谷サービス公社が、太陽光パネルメーカー等と提携し、大量発注を前提に低価格化された太陽光発電システムを販売する「世田谷ヤネルギー」に取り組んで

いて、世田谷区も、積極的に宣伝を行うなど一体となって取り組みを進めていました。

**【意見・感想】**  
既築の戸建て住宅に普及する際の課題等を認識しました。



◀1月15日 世田谷区役所にて

※一時保育事業…市内認可保育園9園において、一日または半日の間、子供を預けられる事業。  
※一時預かり事業…戸田公園駅前行政センター子育て広場において、理由を問わずに子供を時間単位で預けられる事業。

25年度

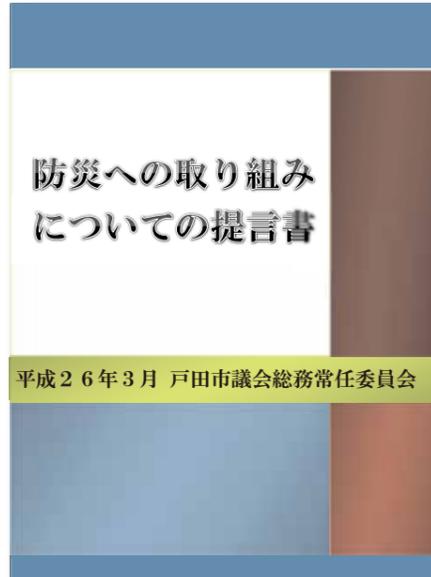
# 常任委員会の年間活動成果

委員会は、議案や請願の審査のほか、所管の範囲で調査事件を定め、市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対して政策提言を積極的に行っています。

## 総務委員会

### より効果的な防災に関する施策等を提言

総務常任委員会では、年間活動テーマを「自治基本条例」「防災への取り組み」「公共施設の適正な管理・運営」の3点と決定し、先進自治体の取り組み等を調査研究してきました。その結果、「防災への取り組み」については、より効果的と考えられる施策等を提言書として取りまとめ、執行部に提出しました。



提言書では、特に検討してもらいたい4点の施策について、提言を行いました。主な内容は、次のとおりです。  
【提言1 危機回避（シエイクアウト型）訓練のさらなる充実】  
危機回避（シエイクアウト型）訓練は、簡易的であり、有効性のある訓練であることから、これを活用し、全市民を巻き込んだ一斉

的な防災訓練について、手法等を検討すること。  
【提言2 防災訓練のあり方や指定避難所の定期的な点検等】  
現在の防災訓練、特に学校で実施されている訓練は、机の下に潜り、防災頭巾をかぶることなどが行われているが、東京湾北部地震（震度6強の想定）が発生した場合、その方法で身の安全が確保できるか疑問があることから、従来の防災訓練に捉われないこと、状況に即した訓練を検討すること。また、災害発生直後に指定避難所がすぐに使えるよう、日ごろから点検等を実施し、必要な処置を講ずること。  
【提言3 福祉避難所指定の拡充】  
現在、災害時要援護者が避難できる福祉避難所は、本市では2カ所指定されている。市域を考慮し、特別養護老人ホーム等を新たに福祉避難所に指定するなど、拡充について検討すること。



▲ 25年5月9日 静岡県地震防災センターにて

## 健康福祉委員会

### 高齢者の生活を豊かにするICT技術の活用を提言

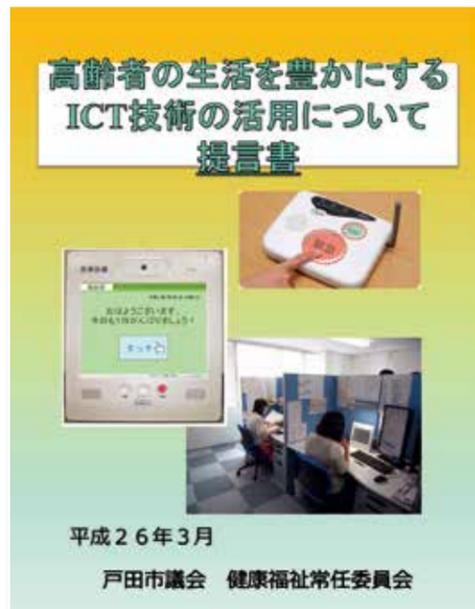
【戸田市は若いまち 将来は？】  
戸田市は、平成25年1月1日現在、平均年齢が39・6歳と埼玉県で一番低く、「若い人が多く、活気あふれるまち」です。  
しかし、戸田市政策研究所の研究によると、2035年の老年人口が約3万5千人と推計されており、2005年比増加率では全国第10位（149・6%）にランキングされています。また、同年の高齢化率は27%に達すると推計されます。  
「高齢者の方々のためにICT技術を貢献させる」との思いで、以下提言するものです。  
【提言1 戸田市緊急時連絡システムの利用促進】  
緊急時連絡システムは、65歳以上のひとり暮らしの人のために、暮らしの人などに、緊急発信ができる装置を貸与するシステム。平常時でも相談に対応する機能を備えていることから、本システムの利用者を広げていくことを提言する。  
【提言2 高齢者の顔が見えるシステムの導入】  
鳥根県奥出雲町では、テレビ電話端末と

コールセンターを設置し、「高齢者の顔が見えるシステム」を構築している。同システムは「おはようタッチ」の機能があり、簡単な操作で1日1回メール通知ができ「家族が安心できる」システムでもある。戸田市においても同様のシステムの導入を提言する。  
【提言3 情報通信技術を活用した健康運動教室の実施】  
新潟県見附市では、空き店舗を活用し、ICT技術を活用した健康運動教室を実施して

いる。空き店舗や、スポーツセンター・福祉保健センターの一部を活用した、健康運動教室の実施を提言する。  
【戸田市歯科口腔保健の推進に関する条例】  
年間活動テーマと並行し、口腔の健康から全身の健康を図ることを目的に「戸田市歯科口腔保健の推進に関する条例」の制定に向けて取り組んできました。議会パブリックコメントに寄せられた意見として、「唾液の分泌が減少する症状を伴う難病」で苦しむ方から、口腔ケアの充実について要望するものなど4件ありました。  
本条例では、3つの基本理念を定めております。①歯科疾患予防と、早期発見・早期治療の促進②妊娠期や乳幼児期から高齢期まで、それぞれの時期における特性に応じた歯科口腔保健の推進③保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他関連



▲ 25年12月10日 茨戸田歯科医師会と一緒に



分野の施策の連携を図る、総合的な歯科口腔保健の推進  
これらの理念に基づき、市の歯科口腔保健施策をバックアップしていく条例となつていきます。

【提言4 協定の拡充による災害対策の充実】  
本市においても、災害発生時における協定として、他の自治体や民間企業等との締結を進めているが、さらに拡充し、災害対策の充実を図ること。具体的には、国の機関や、保育業務の継続性の観点から、民間保育所との協定、また、保育所間での相互協定の締結、さらに、本市の地域性も考慮し、倉庫業者との協定を締結するなど、幅広い分野での協定について、有効と考えられるものは、積極的に検討すること。  
このほか、他の年間活動テーマについては、「自治基本条例」では、委員会において、執行部との意見交換や調査

主な議案  
委員会審査  
総括質問・一般質問  
委員会視察レポート  
年間活動成果  
役職一覧・活動テーマ



## 「幸せを実感できるまちとだ」の実現に向けて



議長 山崎 雅俊



副議長 高橋 秀樹

このたび、要職に就かせていただくことになり、まことに身に余る光栄であると同時に、責任の重さを痛感いたしております。

戸田市議会では、議会基本条例に基づいて、議会改革に全力で取り組んでおります。より一層開かれた議会を目指して、市民の皆様との協働をさらに進めるとともに、議会基本条例の実効性を上げ、政策や今後のビジョンなどについて議員間で議論を交わし、政策提言を積極的に行うよう努めてまいります。

また、本年2月から、議場などに議員が情報通信機器を持ち込むことができるようになりました。今後とも情報通信機器の利活用について調査研究を進め、合意形成を図った上で、将来的に環境に配慮したペーパーレスの議会を目指す所存であります。

引き続き「幸せを実感できるまちとだ」の実現に向け、満身の力を込めて取り組んでまいりますので、今後とも、皆様方のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1月

- 8日 議会改革特別委員会
- 15日 文教・建設委員会／市民生活委員会視察
- 16日 議会広報委員会／一区議長会議員研修会／議会運営委員会
- 17日 市民生活委員会／健康福祉委員会視察／**兵庫県姫路市議会視察来庁**
- 20日 議会モニター委嘱状交付式／**広島県三次市議会視察来庁**
- 21日 県南都市問題協議会環境問題研究部会視察
- 22日 議会広報委員会
- 23日 県南都市問題協議会都市計画・交通問題研究部会視察
- 24日 戸田競艇組合議会周辺対策特別委員会／**県市議会議長会役員会**
- 27日 市民生活委員会
- 27日・28日 文教・建設委員会視察
- 28日 **北海道帯広市議会視察来庁**
- 29日 議会運営委員会／全員協議会／常任委員会（総務、健康福祉）
- 30日 文教・建設委員会
- 31日 県南都市問題協議会都市計画・交通問題研究部会講演会

2月

- 4日 **山口県光市議会視察来庁**
- 5日・6日 本会議（各種選挙）
- 7日 蕨戸田衛生センター組合議会議会運営委員会
- 10日 本会議（施政方針、総括説明、詳細説明）
- 12日 本会議（詳細説明）／議会改革特別委員会
- 13日 戸田競艇組合議会議会運営委員会／蕨戸田衛生センター組合議会／**福島県喜多方市議会視察来庁**
- 14日 県市議会議長会議行政研修会
- 17日 県南都市問題協議会地方分権研究部会視察
- 19日 戸田競艇組合議会
- 20日 本会議（総括質問）／議会広報委員会
- 21日 本会議（議案質疑）／委員長会議／市民生活委員会
- 24日 本会議（一般質問①）／議会運営委員会
- 26日 本会議（一般質問②）
- 27日 本会議（一般質問③）／議会運営委員会
- 28日 常任委員会（総務、文教・建設、健康福祉、市民生活）

3月

- 3日・4日 常任委員会（総務、文教・建設、健康福祉、市民生活）
- 5日 議員互助会役員会／特別委員会（交通対策、議会改革）／議会運営委員会
- 11日 戸田競艇組合議会
- 12日 本会議（委員長報告、討論、採決）
- 13日 蕨戸田衛生センター組合議会
- 16日～23日 戸田市長選挙
- 24日 総務委員会／文教・建設委員会
- 28日 **北海道小樽市議会視察来庁**

### 6月度例会の予定

6月6日	本会議（議案説明）
6月13日	本会議（質疑）
16日	本会議（一般質問）
17日	
18日	常任委員会
19日	
20日	特別委員会
23日	本会議
27日	本会議（討論・採決）

※日程は変更になる場合があります。議会事務局にお問い合わせください。  
（内線52352441・1800）

### 題字を書してくれた人



私は、4月から6年生になりました。最高学年として、戸田第一小学校を力強く引っ張っていけるよう頑張りたいです。この「とだ」という字には、そんな決意の思いも込めて、始筆を力強く、大きく伸び伸びと書くように意識して書きました。私は習字が大好きなので、題字が選ばれたことがとてもうれしいです。

戸田第一小学校 6年 吉房 つばさ



▲私たちがつくっています

### ★前号の訂正★

第181号6ページ中、「みなし仮説住宅」は誤りで、正しくは「みなし仮設住宅」ですので、訂正し、お詫び申し上げます。



**春** は一年のうちで一番よい季節！花が咲き、木々が若草色に染まり、生命の息吹を感じます。前期高齢者となった今、季節の移り変わりと、早さに敏感となり、ますます、編集長を務めますので、よろしくお祈りします。（良）

**市** 議会議員になる前はどの気なしに読んでいた「とだ議会だより」。これから議員として編集に携わることができてうれしいです。「読者として読んでいたころの気持ちを大切に、皆さんに議会についてわかりやすくお伝えできるよう頑張ります！」（桃）

**こ** としの冬は厳しい寒さでしたが、3月後半から一気に暖い春になりました。その一方で、4月から消費税が増税になり、家計は厳しい春を迎えました。家計に本当の春はいつ来るのでしょうか。（望）

**手** に取って、一人でも多くの方に読んでいただけるよう、わかりやすい紙面づくりに頑張ります。今号の議会だよりは、どうでしたでしょうか？ほぼ合格でしょうか？皆様の反応が気になります。終わるまで読んでいただける紙面づくりを目指します！（静）

**振** り返ってみますと、2月中旬の記録的な大雪により各地で大きな被害が出ました。市内でも積雪により駐車場の屋根が倒壊したり、樹木の倒木などがありました。久しぶりに雪かきをして、雪国の生活の大変さを身にしみて実感しました。（民）

**意** 気投合した2人で、近所の公園にラジオを持ち込んで始めてから丸1年が経過しました。そう！ラジオ体操です。土日や元旦も休まず、ラジオは家の中で、出張には小型ラジオを持参で。継続は力なり！少し元気が増したように思います。皆さんも始めてみませんか？（雅）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）  
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。